８／２８　校長室より №272

　本日お昼ごろのマメールでお知らせしました通り、運動会の内容や場所を一部変更いたしました。全体練習の始めに私から全校生の皆さんにそのことを伝えましたが、中には残念に思った生徒もいることでしょう。しかし、その後の活動や応援練習の様子を見ると、みんな前向きに活動してくれていて、とても嬉しく思います。

　練習の最後に、次のようなことを話しました。

・実行委員長の「皆さんはまだまだできるはず」「本当に最高の運動会にしたい」という熱い思いをしっかり受け止めて、明日は勝っても負けてもみんなが納得のいく運動会にしよう。
・去年は豪雨でグラウンドに土砂や木が流れ込んだ。また、直前のコロナの広がりで１か月ほど延期した。今年は猛暑が続いている。このように、今はまさに予測不能な時代。こういう時は、「去年はこうしていたから」とか「今まではこうだったから」というのは通用しない。その時その時に自分の頭でよく考え、みんなの知恵を持ち寄って、「正解」ではなく「最適解」「納得解」を出す必要がある。つまり、主体的で協働的な態度がますます求められる時代になっている。今回の運動会を通して、こういうことも学んでほしい。

　何事も、すべてが万全に整っている中でできればそれに越したことはありません。しかし、そうでなくても、与えられた条件の中で、いかにすれば最高のパフォーマンスを発揮できるのか考えることも必要だと考えます。

　明日、生徒諸君がどのような姿を見せてくれるのか、とても楽しみです。

＜ 運動会前日　体育館での最終練習 ＞